

気仙沼・室根・南三陸圏域 流域治水協議会

防災砂防課資料



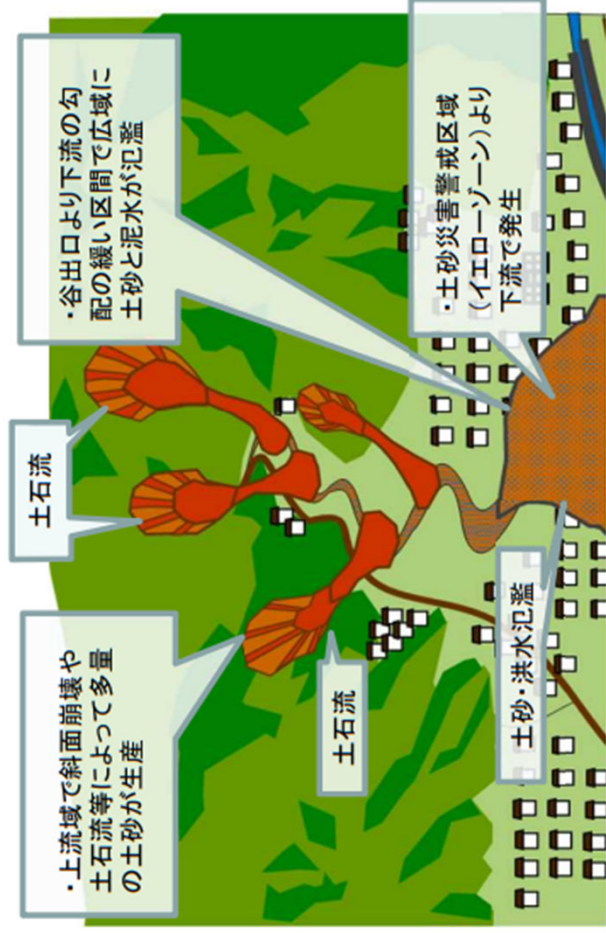
①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 土砂・洪水氾濫対策

- 県内全域の土砂・洪水氾濫（※）により被災する危険性が高い箇所を抽出した。
- 抽出箇所について、対策計画を策定し、砂防堰堤等の整備を推進していく。

※土砂・洪水氾濫のイメージ

豪雨により上流域から流出した多量の土砂が、谷出口より下流の河道で堆積することにより、河床上昇・河道埋塞が引き起こされ、土砂と泥水の氾濫が発生する現象。



出典：土砂・洪水氾濫の概要（国土交通省）

対策のイメージ

危険性の高い流域を中心に、より効果的な砂防堰堤等を組み合わせた施設配置計画を検討し、事前防災対策を推進していく。

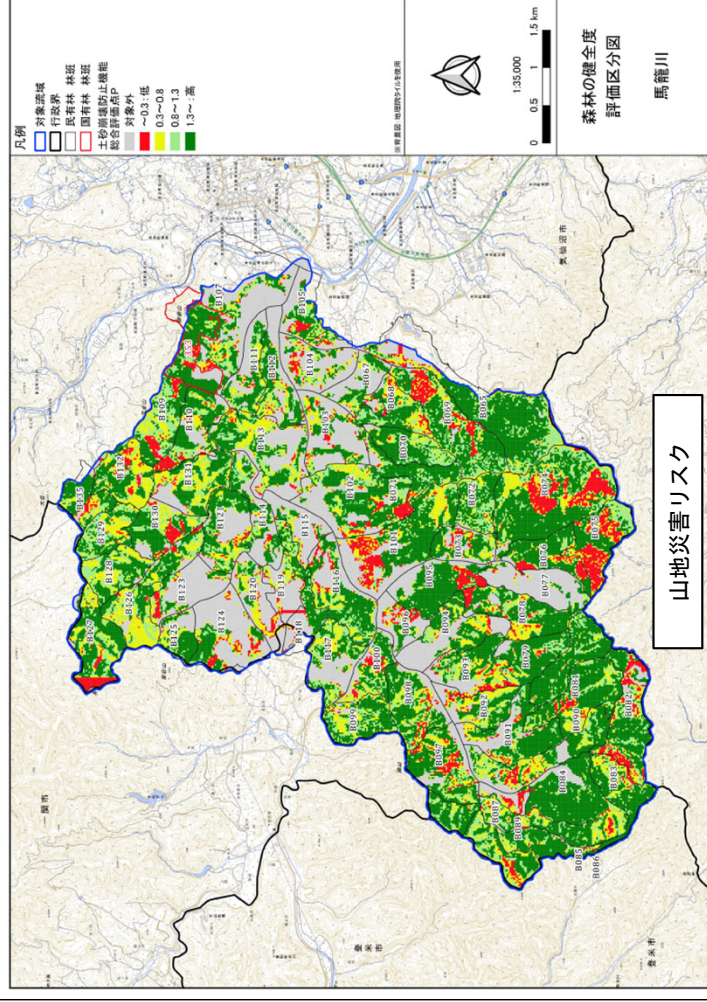


①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 土砂・洪水氾濫対策

- 土砂・洪水氾濫対策を効果的かつ着実に推進するためには、治山と砂防が連動した流域全体における取組が必要であることから、森林部局との連携を一層強化し、効果的な流木対策及び土砂流出防止対策の整備を推進する。
- 気仙沼・南三陸圏域では、土砂・洪水氾濫リスクおよび山地災害リスクの高い馬籠川流域などにおいて、治山事業と連携した対策を実施していく予定。
(砂防9基、治山3基)

森林資源解析データより流木発生ポテンシャルを評価



治山事業と連携した施設配置計画

